



2024 *S-FJ* Japan League G-Final



スーパーFJ 鈴鹿・岡山選手権シリーズ 第7戦

## SUZUKA CLUBMAN RACE

2024年 10月 5-6日 天候:晴れ/ドライ 参加 38台



スーパーFJ 鈴鹿・岡山選手権シリーズは、10月に入ったばかりだということに早くも最終戦を迎えることになった。というのも12月の鈴鹿クラブマンレース最終戦時にS-FJ日本一決定戦を開催するからだ。S-FJジャパンリーグは、鈴鹿サーキットでは今年からで今回が初めての開催となり、ジャパンリーグ全9戦の最終戦となる。岡山でのRd2-3戦の後、猛威を振っていたのが#43 小田優選手(Drago CORSE TAKE FIRST)と#7 松井啓人選手(FTKレヴレーシングガレージ)、そして渡会太一選手(今回は不出場)だった。とりわけ#43 小田選手は、2勝をマークして一躍ランキングトップに浮上。さらにルーキーの#7 松井選手が未勝利ではあるが、2位2回、3位1回と高得点を挙げてきた。

すでに地方選手権の鈴鹿・岡山シリーズのチャンピオンを決めている#56 迫隆真選手(自動車工房ミストkデンタルオフィス)と、どう凌ぎを削り合うかが最大の焦点となる。

しかも、前述のとおり今年の日本一決定戦は鈴鹿が舞台であるため、この一戦は前哨戦とあって関東からの遠征ドライバーも多く、エントリーは実に38台！ さらに#8 岡本大地選手(FTKレヴレーシングガレージ)や、#38 田上蒼竜選手(Hobby base & ZAPSPEED ED)といった、元チャンピオンの参戦もあり、この戦いは絶対に一筋縄ではいかないはずだ！

## ■公式予選

練習走行が行われた金曜日は、絶えず雨に見舞われて、すべてウェットコンディションでの走行となった。こと遠征ドライバーたちは、もしも土曜日以降がドライコンディションに転じれば、ぶっつけ本番での戦いになる。そのハンデは少なくないことは、大いに予想できた。

願っていたか、そうでないかはともかく、予選はドライコンディションでの走行に。柔らかい日差しが降り注ぎ、初秋らしく過ごしやすい気候にまでなっていた。そして 13 時 10 分から 20 分間の予選が始まった。計測 2 周目、まずは#56 迫選手が 2 分 15 秒 926 でトップに立つ。2 番手には#43 小田選手が 2 分 15 秒 947 で続き、3 番手には#8 岡本選手が 2 分 16 秒 035 で、#38 田上選手が 2 分 16 秒 522 で 4 番手につける。

計測 3 周目には#8 岡本選手が 2 分 15 秒 166 にまでタイムを縮め、トップに立つ。その直前に S 字でクラッシュがあって赤旗が出されるも、提示前にコントロールラインを越えられたのは、#8 岡本選手にツキがあったということだ。

再開後にタイムを更新してきたのは 2 分 15 秒 521 の#43 小田選手と、2 分 15 秒 822 の#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)で、それぞれ 2 番手、3 番手に浮上。タイムを更新できない#56 迫選手は 4 番手に落ちてしまう。さらに終了間際には、遠征ドライバーで、鈴鹿は2戦目の#51 落合蓮音選手(ファーストガレージ KK-SII)が 2 分 15 秒 456 を叩き出し、2 番手に食い込む健闘を見せた。予選は終了。ポールポジションは貫禄の速さを見せた#8 岡本選手。2 番手には#51 落合選手が、3 番手には#43 小田選手、4 番手には#22 酒井選手がつけた。赤旗後にタイム更新ならなかった#56 迫選手は 5 番手と苦しい立場。逆に赤旗後にタイムを縮めてきた、#7 松井選手が 6 番手となった。そして、ジェントルマンクラスは総合 30 番手となった、#40 山根一人選手(光精工 T-Sport MYST)がトップだ。

## ■公式予選上位 3 人のコメント

ポールポジション 岡本大地選手(FTK・レヴレーシングガレージ)  
「参戦は去年の開幕戦以来です。ここまで雨で、新品のドライはみんな履けていませんし、タイヤも去年の開幕戦に出た感じと違うので、難しかったです。日本一決定戦前で台数も多いし、初心者的人也多いし、絶対赤旗が出ると思っていたので、間合いを開けてタイヤを温め、計測 1、2 周でアタックをしました。1コーナーから2コーナーを走っている時にやはり赤旗が出て、ぎりぎりタイムを残すことができました。赤旗後はタイヤが冷えて、リヤがズルズルになり、タイムアップは見込めませんでした。決勝はロングを走っていないので未知数ですが、先頭からなので、スタートから逃げ切れたらいいと思います」



## 2 位 落合蓮音選手(ファーストガレージ KKS-2)

「ひとつ足りませんでした。フロントローなので嬉しいです。デビュー戦の時は準備ができていませんでしたが、いろんなレースを重ねて、FJ のマシンやコースの特徴をつかんで、自然に早くなってきた感じです。決勝は前を抜きに行く姿勢で行きたいと思いますが、後ろが来た時は守ってぐちゃぐちゃになるぐらいなら、1 大ずつゆっくり抜かれて下がったほうがいいかなと思います。まずは表彰台、結果が欲しいです」



### 3位 小田優選手(Drago CORSE TAKE)

「走り始めからいい感触で走れていなくて、赤旗が出た時がタイヤのピークで、いちばん良かったんですが、タイムは出ませんでした。その後も何回かアタックはしましたが、思うようなタイムが出ませんでした。決勝はタイムが出ることは分かっているので、走りにくさを改善して優勝できたらと思います」



#### ■決勝レース

泣いても笑っても、これが鈴鹿・岡山シリーズ、ジャパンリーグともに今年最後の戦い。10 週の争いとなる決勝レースは、穏やかな秋晴れの下で行われた。

スタートを決めたのは、ポールシッターの#8 岡本選手。これに予選順のまま、#51 落合選手と#43 小田選手が続くが、#22 酒井選手は出遅れて#56 迫選手の先行を許し、しかし、#7 松井選手は抑えていた。

トップの#8 岡本選手は、シリーズを追いかけていた頃とはタイヤが違うにもかかわらず、相変わらずタイヤの冷えた状態の速さは抜群。1周目を終えると、もう1秒33もの差が。そして、2番手には#43 小田選手が浮上。130R で#51 落合選手をかわしていた。4番手は#56 迫選手、5番手は#38 田上選手だ。

3周目のデグナーでは、#56 迫選手が#51 落合選手をかわして3番手に。鈴鹿・岡山シリーズの新チャンピオンがようやく本領を発揮。続いて#43 小田選手にも迫っていく。やがて#51 落合選手も加えて2番手争いは三つ巴に。その後方では4周目に#22 酒井選手が、#7 松井選手を抜いて5番手に浮上する。6周目のスプーンで、#43 小田選手に#56 迫選手が並ぶ。ここでの逆転はかなわなかったものの、バツ



クストレートでは完全なテール・トゥ・ノーズ状態。130R で軽く牽制をかけた後、#56 迫選手はシケインで前に出る。が、立ち上がりの加速に優れた#43 小田選手はストレートで並走し、1コーナーまでに再逆転。今度は2コーナーで#56 迫選手が並びかけるも、#43 小田選手はしっかり抑え切る。

すると、今度は#56 迫選手に#51 落合選手が急接近。その間に、やや#43 小田選手が差を広げたのに対し、#51 落合選手がデグナーの進入で#56 迫選手のインを刺すも、両車は接触！ その後ろを走っていた#22 酒井選手と#7 松井選手にとっては、まさに目の前で2台がコントロールを失っていたからたまらない。#22 酒井選手は右にハンドルを切り、芝生を走って接触を回避。逆に進路そのまま、ぎりぎりのところで回避できた#7 松井選手が、#22 酒井選手の前に出る。



後方でそんな激しいバトルがあったことなど、#8 岡本選手にとっては知る由もない。もう、5 秒以上のリードを築いていたから。これで#43 小田選手も単独走行となり、#7 松井選手が 3 番手、#22 酒井選手が 4 番手で、レース続行なった#51 落合選手が 5 番手に。その一方で、#56 迫選手はピットに戻ってリタイヤに。新チャンピオンの凱旋レースにはならず終わった。

久々のスーパーFJ を、まったくブランクを感じさせない走りで#8 岡本選手は圧勝。そして、2 位は#43 小田選手で、ジャパンリーグのチャンピオンを獲得した。3 位は#7 松井選手で、ジャパンリーグではランキング 2 位に。

4 位は#51 落合選手。9周目に#22 酒井選手を抜いていた。その#22 酒井選手はジャパンリーグではランキング 4 位。渡会選手に同ポイントで並んだものの、上位入賞回数で涙を飲むことに。6 位は#38 田上選手。序盤に2コーナーでオーバーランし、順位を落としていたものの、しっかり挽回し、最終ラップに#27 豊島里空斗選手(C.S.I Racing)を抜いてチェッカーを受けていた。

今回は 5 台が参加したジェントルマンクラスは、1 位は中嶋匠選手(Aviator A one)、2 位に山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)、3 位は上吹越哲也(FTK・レヴレーシングガレージ)だった。



鈴鹿・岡山シリーズとジャパンリーグは、これにて終了した。

今回のレースで S-FJ ジャパンリーグの年間ランキングが決定した。

1 位は小田優選手、2 位は松井啓人選手、3 位は酒井翔太選手となった。表彰はスーパーFJ 日本一決定戦の表彰式内で行われる。

12 月 1 日に開催されるスーパーFJ 日本一決定戦には、50 台を超えるエントリーがあるとも！ 熱戦が期待される。



2位 小田選手

優勝 岡本選手

3位 松井選手

優勝: #8 岡本大地選手(FTK レヴレーシングガレージ)

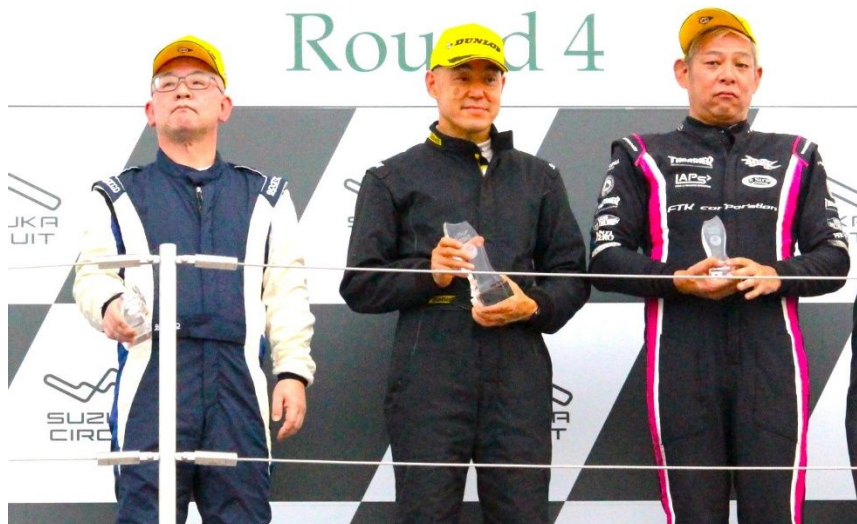
「後ろ、やり合っていました？ ああ～。タイヤが落ちるのが心配で、悩みだったんですが、温め方変えてみたら、うまくいきました。最初にスリップ圏内から外れたので、なんとか逃げ切れました。S-FJ は実質2年ぶりなんですけど、楽しいですね、フォーミュラは。僕も若い子と走れるのは刺激だし、ずっと僕がやっていた頃と、今の走らせ方は若干違うと思いますし、それを吸収できるのは、自分の腕が落ちない、維持できるのでいいですね。楽しみました。日本一決定戦ですか？ はい、出ますよ！」

2位 #43 小田優選手(Drago CORSE TAKE FIRST)

「予選でちょっと乗りにくかった部分を、決勝ではセット変えて走ったんですが、あんまりいい方向には行かず、変わらない感じだったので、ペースが上がらなかったですね。今日は悔しいレースでした。ジャパンリーグのチャンピオンは獲れましたけど、う～ん、そうですね、勝手決めたかったです。日本一決定戦は勝ちます！」

3位 #7 松井啓人選手(FTK レヴレーシングガレージ)

「そもそも車の面で、違うことをやってみようかと、鈴鹿に関して今までうまくいかないことも多かった。ちょっと見直して調整しましたが、ドライで金曜走れなくて、テストできなかったのが大きかったです。うまくいなくて。決勝までに対策しましたが、あの位置を走っていたから、こういうことになったのかなって、運も実力のうちですからね。それはそれで、良かったと思います。自分の力だけではレースできないので、それは常に気にかけてやっています。まだ日本一決定戦まで時間もありますし、岡本選手にやられて悔しいので、データとか見せてもらって、今度こそ勝ちたいと思っています」



ジェントルマンクラス 2位 山根選手 1位 中嶋選手 3位 上吹越選手 の表彰





Round 4

## 2024 SUZUKA CLUBMAN RACE



Organized by KRHC-SMSC



No 16

スーパーFJ 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第7戦

スーパー FJ 公式予選

2024/10/5 15:10



SUZUKA CIRCUIT

暫定結果表

Weather : Fine

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap	
1	8			岡本 大地	FTK・レヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	2'15.166		3 / 8	
*1 2	51			落合 蓮音	ファーストガレージ/KKS-2	KK-S II	DL	2'15.456	0.290	6 / 8	
*1 3	43			小田 優	Drago CORSE TAKE	KK-S II	DL	2'15.521	0.355	5 / 8	
4	22			酒井 翔太	ファーストガレージ KK-S II	KK-S II	DL	2'15.822	0.656	5 / 8	
*1 5	56			迫 隆真	自動車工房ミスト kテンタルオフィス	KK-S II	DL	2'15.926	0.760	3 / 8	
*1 6	7			松井 啓人	FTKレヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	2'15.955	0.789	6 / 7	
*1 7	38			田上 蒼竜	Hobby base&ZAPSPEED ED	KK-S II	DL	2'16.161	0.995	7 / 8	
*1 8	18			鈴木 七瀬	FORM with 雅企画	KK-S II	DL	2'16.195	1.029	6 / 8	
*1 9	27			豊島 里空斗	C.S.I Racing	KK-S II	DL	2'16.212	1.046	5 / 8	
10	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	2'16.248	1.082	8 / 8	
11	31			加納 康雅	イーグルススポーツ	KK-S II	DL	2'16.301	1.135	8 / 8	
12	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING	KK-S II	DL	2'16.445	1.279	7 / 8	
*1 13	58			YUTA SUZUKI	ZAP SPEED KK-S2	KK-S II	DL	2'16.494	1.328	5 / 8	
14	44			宮園 拓真	ABBEY RACING	KK-S II	DL	2'16.499	1.333	6 / 8	
15	54			中村 ブンスム	ファーストガレージ10V	RD10V	DL	2'16.514	1.348	5 / 8	
*1 16	53			石井 大雅	ファーストガレージ制動屋S2	KK-S II	DL	2'16.754	1.588	3 / 8	
*1 17	34			藤井 翔大	DragoCORSEスカラシップ	KK-S II	DL	2'16.766	1.600	0.012	3 / 8
*1 18	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	2'16.807	1.641	0.041	3 / 8
19	36			畔柳 拓武	イーグルススポーツ	KK-S II	DL	2'16.833	1.667	0.026	8 / 8
*1 20	11			梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	2'16.974	1.808	0.141	6 / 8
21	52			中川 賢太	EAGLESPORT	KK-S II	DL	2'17.038	1.872	0.064	8 / 8
*1 22	71			宮本 颯斗	leprix sport KKS- II	KK-S II	DL	2'17.086	1.920	0.048	3 / 8
*1 23	79			居附 明利	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	2'17.122	1.956	0.036	3 / 8
*1 24	1			元山 泰成	ECOTEH WORKS	KK-S II	DL	2'17.417	2.251	0.295	6 / 8
25	57			東 慎之介	サンセルモ MYST ORM	KK-S II	DL	2'17.417	2.251	0.000	7 / 8
26	33			磐上 隼斗	アルビ富士吟景GIAED	KK-S II	DL	2'17.430	2.264	0.013	7 / 8
*1 27	99			Aki Jitranuwath	ATEAM Buzz Racing KKS2	KK-S II	DL	2'17.534	2.368	0.104	2 / 7
*1 28	2			KODAI YOSHIDA	ATEAM Buzz Racing KKS2	KK-S II	DL	2'18.183	3.017	0.649	6 / 8
*1 29	82			大川 烈弥	群馬トヨレットTeam RiNoA ED	KK-S II	DL	2'18.472	3.306	0.289	5 / 8
*1 30	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	2'18.552	3.386	0.080	5 / 8
31	17	G	2	中嶋 匠	Aviator A One	KK-S II	DL	2'18.658	3.492	0.106	5 / 8
32	78			小田部 憲幸	(株)フォースリンク 銀座監あらい ZAP ED	KK-S II	DL	2'18.747	3.581	0.089	3 / 3
33	4	G	3	古里 拓	FLEET REV KK-S II	KK-S II	DL	2'19.624	4.458	0.877	3 / 8
*1 34	16			地崎 杏星	レプリカスポーツkks II	KK-S II	DL	2'19.760	4.594	0.136	3 / 8
*1 35	9	G	4	上吹越 哲也	FTK・レヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	2'20.562	5.396	0.802	6 / 7
36	72			久保 直也	だーはまレーシングAQUA-DL	WEST07J	DL	2'21.106	5.940	0.544	8 / 8
37	12			及川 正人	PONOS M2 KK-S2	KK-S II	DL	2'25.343	10.177	4.237	6 / 8
*2 38	19	G	5	大貫 直実	グレード1・オートレット・SUZUBAN F109	F109	DL	2'26.373	11.207	1.030	3 / 8

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'55.995 - 130%) \*\*\*\*\*

# スーパー FJ 決勝

2024 / 10 / 5 17:15

 **SUZUKA CIRCUIT**  
Full Course 4-Wheels(5,807m)

## グリッド表

1	<b>1</b> <b>8</b> 岡本 大地 FTK・レグ レーシング ガレージ 2'15.166	<b>2</b> <b>51</b> 落合 蓮音 ファーストガ レージ KKS-2 2'15.456	<b>13</b> <b>25</b> <b>57</b> 東 慎之介 サンセルモ MYST ORM 2'17.417	<b>26</b> <b>33</b> 警上 隼斗 アビ 富士吟景GIAED 2'17.430
2	<b>3</b> <b>43</b> 小田 優 Drago CORSE TAKE 2'15.521	<b>4</b> <b>22</b> 酒井 翔太 ファーストガ レージ KK-S II 2'15.822	<b>14</b> <b>27</b> <b>99</b> Aki Jitranuwath ATEAM Buzz Racing KKS2 2'17.534	<b>28</b> <b>2</b> KODAI YOSHIDA ATEAM Buzz Racing KKS2 2'18.183
3	<b>5</b> <b>56</b> 迫 隆真 自動車工房ミスト k デンタオフィス 2'15.926	<b>6</b> <b>7</b> 松井 啓人 FTKレグ レーシング ガレージ 2'15.955	<b>15</b> <b>29</b> <b>82</b> 大川 烈弥 群馬トヨタ Team RiNoA ED 2'18.472	<b>30</b> <b>47</b> 山根 一人 光精工 TK-Sport MYST 2'18.552
4	<b>7</b> <b>38</b> 田上 蒼竜 Hobby base&ZAPSPEED ED 2'16.161	<b>8</b> <b>18</b> 鈴木 七瀬 FORM with 雅企画 2'16.195	<b>16</b> <b>31</b> <b>17</b> 中嶋 匠 Aviator A One 2'18.658	<b>32</b> <b>78</b> 小田部 憲幸 (株)フォースリンク 銀座館あらい 2'18.747
5	<b>9</b> <b>27</b> 豊島 里空斗 C.S.I Racing 2'16.212	<b>10</b> <b>88</b> 八巻 渉 中日本自動車短期大学MSE学 2'16.248	<b>17</b> <b>33</b> <b>4</b> 古里 拓 FLEET REV KK-S II 2'19.624	<b>34</b> <b>16</b> 地崎 奇星 レプリカ - rkkks II 2'19.760
6	<b>11</b> <b>31</b> 加納 康雅 イーグ ルスポーツ 2'16.301	<b>12</b> <b>10</b> 杉田 悠真 LAPS with REV RACING 2'16.445	<b>18</b> <b>35</b> <b>9</b> 上吹越 哲也 FTK・レグ レーシング ガレージ 2'20.562	<b>36</b> <b>72</b> 久保 直也 だーはまレーシング AQUA-DL 2'21.106
7	<b>13</b> <b>58</b> YUTA SUZUKI ZAP SPEED KK-S2 2'16.494	<b>14</b> <b>44</b> 宮園 拓真 ABBEY RACING 2'16.499	<b>19</b> <b>37</b> <b>12</b> 及川 正人 PONOS M2 KK-S2 2'25.343	<b>38</b> <b>19</b> 大貫 直実 グレード 1・オートレット・SUZUBAN 2'26.373
8	<b>15</b> <b>54</b> 中村 ブノムム ファーストガ レージ 10V 2'16.514	<b>16</b> <b>53</b> 石井 大雅 ファーストガ レージ 制動屋S2 2'16.754		
9	<b>17</b> <b>34</b> 藤井 翔大 DragoCORSEスタジオ 2'16.766	<b>18</b> <b>55</b> 板倉 慎哉 AMORE TOKYO ☆表参道 2'16.807		
10	<b>19</b> <b>36</b> 畔柳 拓武 イーグ ルスポーツ 2'16.833	<b>20</b> <b>11</b> 梅本 幸汰 Rn-sports制動屋KK-S2 2'16.974		
11	<b>21</b> <b>52</b> 中川 賢太 EAGLESPORT 2'17.038	<b>22</b> <b>71</b> 宮本 颯斗 leprix sport KKS- II 2'17.086		
12	<b>23</b> <b>79</b> 居附 明利 中日本自動車短期大学MSE学 2'17.122	<b>24</b> <b>1</b> 元山 泰成 ECOTEH WORKS 2'17.417		

No.19は、3グリッド降格 (鈴鹿クラブマンレースシリーズ 規則第60条1)⑧(ホワイトラインカット)

スタート予定時刻 : 10/6 15:25 (10Laps or 30mins)



# スーパー FJ 決勝

2024 / 10 / 6 17:35



## 正式結果表

Weather : Fine

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	8			岡本 大地	FTK・レヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	10	22'44.553		2'16.244
2	43			小田 優	Drago CORSE TAKE	KK-S II	DL	10	22'50.673	6.120	2'16.616
3	7			松井 啓人	FTKレヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	10	22'54.973	10.420	2'16.354
4	51			落合 蓮音	ファーストガレージ KKS-2	KK-S II	DL	10	22'58.801	14.248	2'16.606
5	22			酒井 翔太	ファーストガレージ KK-S II	KK-S II	DL	10	23'01.289	16.736	2'16.546
6	38			田上 蒼竜	Hobby base&ZAPSPEED ED	KK-S II	DL	10	23'01.779	17.226	2'17.307
7	27			豊島 里空斗	C.S.I Racing	KK-S II	DL	10	23'01.954	17.401	2'17.540
8	18			鈴木 七瀬	FORM with 雅企画	KK-S II	DL	10	23'03.677	19.124	2'16.945
9	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING	KK-S II	DL	10	23'09.851	25.298	2'16.991
10	53			石井 大雅	ファーストガレージ 制動屋S2	KK-S II	DL	10	23'12.423	27.870	2'17.943
11	79			居附 明利	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	10	23'12.758	28.205	2'17.823
12	36			畔柳 拓武	イーグルスポーツ	KK-S II	DL	10	23'13.216	28.663	2'17.752
13	71			宮本 颯斗	leprix sport KKS- II	KK-S II	DL	10	23'14.537	29.984	2'18.349
14	33			磐上 隼斗	アルビ富士吟景GAIED	KK-S II	DL	10	23'14.830	30.277	2'18.136
15	44			宮園 拓真	ABBEY RACING	KK-S II	DL	10	23'16.523	31.970	2'18.219
16	52			中川 賢太	EAGLESPORT	KK-S II	DL	10	23'17.316	32.763	2'18.193
17	57			東 慎之介	サンセルモ MYST ORM	KK-S II	DL	10	23'18.654	34.101	2'18.354
18	99			Aki Jitranuwath	ATEAM Buzz Racing KKS2	KK-S II	DL	10	23'19.596	35.043	2'18.158
19	11			梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	10	23'20.410	35.857	2'18.087
20	54			中村 フンスム	ファーストガレージ10V	RD10V	DL	10	23'20.460	35.907	2'17.430
21	78			小田部 憲幸	(株)フォーシリンク 銀座鮫あらい ZAP ED	KK-S II	DL	10	23'21.086	36.533	2'18.239
22	2			KODAI YOSHIDA	ATEAM Buzz Racing KKS2	KK-S II	DL	10	23'21.855	37.302	2'18.542
23	17	G	1	中嶋 匠	Aviator A One	KK-S II	DL	10	23'22.061	37.508	2'18.523
24	47	G	2	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	10	23'29.545	44.992	2'18.931
25	9	G	3	上吹越 哲也	FTK・レヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	10	23'48.407	1'03.854	2'21.313
26	4	G	4	古里 拓	FLEET REV KK-S II	KK-S II	DL	10	23'50.094	1'05.541	2'21.231
27	16			地崎 杏星	レプリカスポーツツクks II	KK-S II	DL	10	23'50.808	1'06.255	2'21.438
28	72			久保 直也	だーはまレーシングAQUA-DL	WEST07J	DL	10	23'55.783	1'11.230	2'22.126
*1	29			元山 泰成	ECOTEH WORKS	KK-S II	DL	10	24'01.677	1'17.124	2'18.533
30	19	G	5	大貫 直実	グレード1・オートレット・SUZUBAN F109	F109	DL	10	24'58.060	2'13.507	56.383
31	12			及川 正人	PONOS M2 KK-S2	KK-S II	DL	10	25'06.017	2'21.464	7.957
*2	32			加納 康雅	イーグルスポーツ	KK-S II	DL	9	23'36.134	1Lap	1Lap
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KK-S II	DL	8	18'27.131	2Laps	1Lap
	58			YUTA SUZUKI	ZAP SPEED KK-S2	KK-S II	DL	8	18'27.465	2Laps	0.334
	82			大川 烈弥	群馬トヨペットTeam RiNoA ED	KK-S II	DL	8	19'04.085	2Laps	36.620
*3	56			迫 隆真	自動車工房ミスト kデンタルオフィス	KK-S II	DL	8	19'15.893	2Laps	11.808
	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	1	2'25.737	9Laps	7Laps
	34			藤井 翔大	DragoCORSEスカラシップ	KK-S II	DL	1	3'02.860	9Laps	37.123

## 2024 S-FJジャパンリーグ ポイント表

### レーススケジュール



Rd.1	3月31日	オートポリス	GOLD CUP RACE
Rd.2-3	4月28日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップ
Rd.4	5月26日	筑波サーキット	SCCN MAY RACE MEETING
Rd.5	6月23日	富士スピードウェイ	Funtec GT World Challenge Asia
Rd.6-7	7月20-21日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップ
Rd.8	8月11日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップ
G-Final	10月6日	鈴鹿サーキット	鈴鹿クラブマンレース

### ポイントランキング

順位	ドライバー	AP 3/31	岡山		筑波 5/26	富士 6/23	SUGO		もてぎ 8/11	鈴鹿 10/6	合計
			4/28	4/28			7/20	7/21			
1	小田 優		2	5		3	6	4	6	5	31
2	松井 啓人		5	3		5	4	5		4	26
3	酒井 翔太	2			3	2	1	2	5	2	17
4	渡会 太一					6	3	6	2		17
5	石井 大雅				5	4			4		13
6	迫 隆真		6	6							12
7	田中 風輝						5	3			8
8	岡本 大地									6	6
9	吉元 稜	6									6
9	加納 康雅		4	2							6
9	角間 光起				6						6
12	篠田 義仁	5									5
12	杉田 悠真		1	4							5
12	伊藤 駿				4	1					5
15	永原 蒼翔	4									4
15	元山 泰成		3	1							4
15	豊島 里空斗						2	1	1		4
18	落合 蓮音									3	3
19	KOUKI SAKU	3									3
19	榊木 大河								3		3
21	内藤 大輝				2						2
22	田上 蒼竜									1	1
23	碓井 ツヨシ	1									1
23	津田 充輝				1						1

